

平成19年北秋田市議会6月定例会行政報告

北秋田市議会6月定例会が開催されるにあたり、3月6日以降の主な事項及び今後予定している事項について報告いたします。

市長部局

総務部

<総務課関係>

平成19年度から、機構改革の一環として従前の総務課と職員課を統合し、総務課として新年度の業務がスタートいたしました。

平成19年3月31日付けの退職者は31名で、これに伴う4月1日付けの新規採用職員は、市長部局4名、消防本部4名、教育委員会5名の計13名となっております。5月1日現在の職員数は624名で、合併時の職員数と比較し54名(8.0%)の減となっております。

なお、部局別職員数は下記のとおりとなっております。

H19.5.1現在(人)

部局	条例定数	現職員数	差引
市長部局	406	374	△32
議会事務局	6	4	△2
教育委員会事務局	114	109	△5
選挙管理委員会事務局	4	3	△1
監査委員事務局	3	2	△1
農業委員会事務局	4	3	△1
消防本部	96	97	1
公営企業事務部局	10	8	△2
市立病院	35	24	△11
計	678	624	△54

<税務課関係>

平成19年度の各税目の当初課税状況は、軽自動車税については課税台数16,188台(対前年122台増)、課税額が68,789千円(対前年1,860千円増)となっており、また固定資産税は納税義務者数が17,231人(対前年209人減)、課税額は1,519,703千円(対前年13,064千円減)となっております。

企 画 部

<総合政策課関係>

行政と地域が一体となった協働のまちづくりの一環として本年度からスタートした「市民提案型まちづくり事業補助金」については、6件の応募がありました。5月16日、当補助事業の審査機関として「評価市民委員会」（委員5名）を設置し、5月24日に申請団体の公開プレゼンテーションを実施しながら補助対象事業の適否等を評価しております。

<広報情報課関係>

広く全国への市の情報発信手段となっているインターネット・ホームページは、これまでのシステムに改善を加え、より多様化、高度化する利用者ニーズに応えるべく、情報量、情報伝達速度等の向上のための諸準備を進めております。

市内外に北秋田市をPRする冊子となる「市勢要覧」の改訂版はこのほど作成を終え、秋田わか杉国体や全国植樹祭をはじめとする主要イベントでの活用を進めてまいります。

平成18年度の情報公開・個人情報保護制度運用状況については、公文書等の行政情報の公開請求は43件、個人情報の開示請求が6件で、いずれも請求どおり公開いたしました。異議の申立て等は発生しておりません。

6月1日を調査日とする全国一斉の「商業統計調査」については、市内の卸し・小売業の約600事業所を対象に、調査員22名を委嘱し4月下旬から調査活動を行っております。

<財政課関係>

平成19年4月1日から5月11日までの工事等発注状況（500万円以上）は、別紙のとおりとなっております。

<電算システム課>

5月18日、本市の住民個人情報インターネット上に流出していることが判明いたしました。流出した情報は合併前の鷹巣町と森吉町の住民情報で、合併時の電算システム統合に際し、データの移行業務を委託した日本電気（株）秋田支店が山口県の山口電子計算センターに再委託したところ、作業に従事した従業員が重要データをファイル交換ソフト（Winny）がインストールされた自宅のパソコンに保存、その後そのパソコンがウィルスに感染したことによって流出したものと判明いたしました。

流出した個人情報により市民の皆様に被害が及ばないよう、本庁市民生活部市民課及び森吉支所市民福祉課に相談窓口を設置し対応しております。

個人情報保護条例及び契約に基づく義務違反等により、関係した業者の管理責任を追及し、厳格に対処していくとともに、住民情報を管理する自治体の責任の重大性を再認識し、職員並びに関係業者に対しましても、個人情報保護の指導、監督を一層強化し再発防止に努めてまいります。

工事等発注一覧表 ※ 500 万円以上（消費税含む）			
平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 5 月 11 日			
工事名（業務名）	契約年月日	契約額 （千円）	請負業者名
住民情報系システムソフトウェア保守業務委託	H19.4.1	17,236	日本電気（株）
企画部 1 件		17,236	
クリーンリサイクルセンター焼却施設運転管理業務	H19.3.12	11,109	東北ビル管財（株）
鷹巣斎場火葬等業務委託	H19.4.1	5,985	東北ビル管財（株）
プラ製容器減溶機設置工事	H19.4.19	17,304	（株） 山二
北秋田市民病院（仮称）二次造成工事	H19.5.1	83,370	（株）佐藤庫組
市民生活部 4 件		117,768	
生活排水処理整備基本構想策定業務委託	H19.5.11	14,437	（株）日水コン
農業集落排水処理施設維持管理業務委託（浦田地内ほか）	H19.4.27	6,090	山岡工業（株）
浄化センター維持管理業務委託	H19.4.27	45,150	山岡工業（株）
市道平里線道路改良工事	H19.5.2	71,400	昭和コンクリート工業（株）
面整備工事（鷹巣処理区その 1）	H19.5.10	47,670	板倉建設（株）
建設部 5 件		184,747	
北秋田市立児童館運営管理業務委託	H19.4.1	34,995	北秋田市社会福祉協議会
子育てサポートハウス業務委託	H19.4.1	12,184	北秋田市社会福祉協議会
福祉事務所 2 件		47,179	
森吉中学校・米内沢小学校スクールバス運行業務委託	H19.4.1	9,126	秋北バス（株）
教育委員会 1 件		9,126	
水利使用許可申請書及び変更許可申請書作成業務委託	H19.4.20	16,800	（株）三木設計事務所
森吉支所 1 件		16,800	
小様三枚線道路改良工事	H19.5.1	85,732	（株）松岡組
阿仁地区家庭ごみ等収集運搬業務委託	H19.3.27	16,044	北秋田清掃協同組合
阿仁支所 2 件		101,776	
合計 16 件		494,632	

市民生活部

<市民課関係>

平成 19 年 4 月末日現在の住民登録者数は、39,538 人でその内訳は、男 18,674 人、女 20,864 人、世帯数は 14,819 世帯となっております。

<保険課関係>

国民健康保険の加入世帯数は 8,599 世帯で、加入者数は 15,892 人、その内訳は一般 12,277 人、退職 3,615 人となっております。このうち、70 歳以上 75 歳未満の前期高齢者数は 2,102 人となっております。（平成 19 年 3 月末現在）

また、老人医療については、受給者数が 7,526 人となっております。

<医療推進課関係>

市民病院建設に向け、現在委託契約に基づいた実施設計書の作成が進められております。

4 月 26 日、二次造成工事に関する入札会が、地元業者 11 社が参加し開催されました。

5 月 1 日、落札業者と工事請負契約を締結し、整地工を主とした同工事に着工しております。工期は 12 月 20 日までを予定しております。

<国民健康保険合川診療所関係>

平成 18 年度の外来患者数は 14,808 人（1 日平均 55 人）で前年度比較では 646 人（9.5%）の減少となっております。

医療体制の充実を図るため消化器専門の医師 1 名を招聘し、5 月から毎月第 1・第 3・第 5 土曜日に、増員した体制で診察を行うこととしており、今後も地域住民の健康を守るとともに安定した経営のための努力を重ねてまいります。

<阿仁病院関係>

平成 18 年度病院事業決算見込みは、前年度比較で外来患者、入院患者とも 1 日平均 4 人ほどの減となり、医業収益も 62,000 千円程の減収となりましたが一般会計からの繰入れにより単年度事業収支では 17,747 千円の純利益となっております。

5 月 1 日付けの県派遣医師の異動に伴い、当分の間、入院病棟が休床となり、外来診療のみの運営になりますが、住民の健康管理を維持していくための診療体制を構築してまいります。

<保健センター関係>

成人検診事業については、集団検診方式・医療機関方式・市民ドック方式で実施しておりますが、集団検診については、森吉地区が 4 月 5 日から 25 日までで終了し、受診者数は、基本健康診査 1,267 人、大腸がん 1,068 人、前立腺がん 409 人、子宮がん 160 人、乳がん 138 人、骨そしょう症 120 人となっております。阿仁地区は 5 月 22 日、合川地区は 6 月 1 日、鷹巣地区は 7 月 2 日からそれぞれ実施予定となっております。

また、介護予防事業として栄養教室、口腔機能向上教室、パワーリハビリ教室、運動教室（水中含む）がそれぞれ実施されております。

市民の健康づくり事業の一環としてのウォーキングは、4地区で開催予定（スポーツ振興課との共催）となっており、その第1回目として4月27日、鷹巣地区の「さくらウォーキング」が220名の市民が参加し、鷹巣中央公園を会場に開催されました。

3月31日で任期満了となった保健協力員及び母子保健推進員については、4月1日、新たに保健協力員377名、母子保健推進員15名の方々を2年間の任期で委嘱しております。

<生活環境課関係>

任期満了となった交通指導員、防犯指導員については、新たに4月1日から2年間の任期で委嘱し活動を行っております。（交通指導員50名、防犯指導員44名）

春の全国交通安全運動を、5月11日から20日までの期間で実施し、初日の11日には、本庁舎前駐車場と森吉支所前を会場に、関係機関、団体など約280名が参加し合同出発式、総決起集会を開催、市民への交通安全の啓蒙と意識高揚を図りました。

廃棄物不法投棄監視員については、平成19年4月1日から1年間の任期で24名を委嘱いたしました。監視員は不法投棄のないきれいな環境の保全のため、地域の巡回などを行うことになります。

4月22日早朝、春のクリーンアップを市内全域で実施いたしました。あいにくの雨天にもかかわらず、6千人を超える市民が一斉清掃に取り組みました。

市指定ごみ袋については、作製希望業者が最終的に3社となり、提出された材質見本、プリント図案等を審査した結果、各社とも認定規格に適合していると認められ、5月10日、認定番号を付与し認定書を交付いたしました。今後は①各社が作製作業に着手②成果品を市が検査③検査合格後に協定書を締結④販売開始のスケジュールとなり、最短でも6月下旬販売となる見込みです。

クリーンリサイクルセンターへの平成18年度ごみ搬入実績は、約12,578トン（うち北秋田市分は約11,735トン＝93.3%）で、前年度実績約12,278トン（うち北秋田市分約11,440トン）に比べ約300トンの増加（北秋田市分では約295トンの増加）となっております。

福祉事務所

<福祉課関係>

5月1日現在の生活保護世帯数は、327世帯（436人）となっております。

4月2日から障害者自立支援法に基づく相談支援事業を、障害者生活支援センターにおいて実施しております。4月の延べ利用者は来所83人、訪問36人、電話相談が39件で、生活相談やサービス利用の手続きに関するものが主となっております。今後も事業の実施にあたっては、障害者関係団体や支援関係機関へ周知を図りながら、障害者の自立と社会参加の促進に努めてまいります。

県北地区第1号の認定子ども園（幼保連携型）として県の認可を受けた社会福祉法人「鷹巣地の塩会」（旧鷹巣保育園・旧鷹巣教会幼稚園）は、幼児教育と保育を一体的に提供する施設として本年4月1日から業務を開始しております。

子育て家族への経済的支援対策事業である、すこやか子育て支援事業（保育料の免除及び軽減）の対象児童は、4月1日現在772人で、入所児童の約9割が対象となっております。また、在宅で子育てをしている家庭等への支援事業である乳児養育支援金（0歳児対象、1歳に達するまで月1万円を支給）は、対象児童が4月1日現在で280人となっており、子育て世帯の経済的負担の軽減に努めております。

子育てサポートハウス「わんぱあく」については、365日オープンで、親子が自由に集えるよう交流広場を開設。また、病後児保育や児童の一時的な預かり、育児相談などを実施しております。昨年度の実績は、親子の交流で1日平均16人、一時的な託児で1日平均2.5人、病後児保育は9人の利用となっております。施設は子育てボランティアの会議などにも利用されており、今後とも施設利用の推進に努めてまいります。

市内14ヶ所（小学校学区単位で実施）に設置されている「学童クラブ」については、5月1日現在の登録数474人（対前年60人増）で、年々増加の傾向にあります。就労家庭の児童の安全・安心対策として教育委員会の放課後子ども教室事業と連携しながら実施してまいります。

市の単独事業として実施しております「ひとり親家庭就学祝金」については、小学校及び中学校への入学時の経済的支援として、本年度は55人の児童に1万円の祝金を交付しております。

本年度から子育て支援新規事業として開始した「子育て短期支援事業」は、児童を養育している家庭の保護者が疾病等の社会的理由や、ひとり親家庭の仕事の理由等によって家庭における児童の養育が一時的に困難になった場合に、市内にある児童養護施設「陽清学園」において一定期間養育するもので、緊急一時的に保護を要する母子等も利用できます。市内においても核家族化が進行し、預け先のない家庭等が増えている現状に鑑み対応した事業であります。

児童手当については、本年4月から制度が拡充され、3歳未満の乳幼児の児童手当が、第1子及び第2子についても5千円から一律月額1万円に増額となりました。（3歳以上の児童は第1子及び第2子については、各5千円。）本市においては約260人の児童が該当となり、若い子育て世帯等の経済的負担の軽減が図られております。

<高齢者支援課関係>

高齢者在宅福祉サービスとして実施している各種事業の平成18年度実績は、公共交通機関を利用できない寝たきり者や車椅子利用者へのサービスとして行っている「高齢者障害者等外出支援サービス」では、利用登録者数が450名で、延べ利用回数は8,579回となっております。

食の自立支援事業（配食サービス）の登録者は166名で、延べ利用食数は24,874食となっております。

また、家族介護慰労金支給事業で要介護4及び5若しくは認知症で要介護3の登録者は306名、月1万円の支給額で延べ支給月は2,065ヶ月となっております。

家族介護用品支給事業の要介護4又は5で非課税世帯の登録者は79名で、支給延べ人数は510名。あんしん電話の利用台数は、497台となっており、今後とも在宅福祉サービスとしての制度活用が見込まれます。

介護保険の要介護（要支援）認定者は、平成18年度末で2,510名となり、そのうち介護サービス利用者は居宅サービス、施設サービス合わせて1,951名で、利用率は、77.7%となっております。

なお、昨年同期と比較すると認定者数で1.2%、利用者数で3.5%増加しております。

<地域包括支援センター関係>

地域包括支援センターは、高齢者の生活を総合的に支えていくための拠点として平成18年4月に市が主体となり設置された機関で、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員などが中心となって、介護予防に関するマネジメントをはじめとする高齢者への総合的な支援を行っております。

今年度は専門職員等の増員により要支援1・2の認定者の対応はもとより、要支援、要介護となる恐れがある前段階の高齢（特定高齢）者についても訪問、実態把握、相談、ケアプランの作成等、介護予防に力を注ぎ、サービスの充実を図って参ります。

また、総合的な相談、支援、虐待防止の権利擁護等についても増加傾向にあり、適切な対応と、解決に向けて取り組んでまいります。

産 業 部

<商工観光課関係>

4月25日、第1回産業祭実行委員会が産業会館において開催され、10月27日（土）～28日（日）に鷹巣体育館を中心に開催することを決定いたしました。市全域の農業・商業・工業・高校関係者等の一大イベントにするため準備を進めることになります。

5月15日、事業者が新たに創業して雇用の拡大を図るための支援として、国の「地域創業助成金」制度の活用を推進するため、北秋田市雇用創造促進協議会が開催され、地域重点分野の設定などを行いました。今後、新たなビジネス立ち上げの有効な支援策となります。

昨年作成された「まちの賑わいづくり事業アクションプラン」を実行に移すための、新たなまちの賑わいづくり事業推進委員会が新メンバー構成で結成され、平成19年度から20年度に各事業を実施して中心市街地の活性化に向けて進むことになりました。今後は商店街、商工会、消費者の会、農協、市がそれぞれ創意工夫した事業を展開する予定となっております。

高速通信網の整備は産業振興に欠かせない要件となっていることから、4月に北秋田大野台工業団地の高速化について同団地協議会と連名で、県に対し要望活動を行いました。

5月1日、北秋田市工業振興促進条例に基づく奨励措置適用指定書をクラウンメタルプレイング株式会社に対し交付いたしました。

5月18日、北秋田市発足後誘致第1号企業として、同社新工場竣工式が北秋田大野台工業団地において行われました。グループ企業の金属製品の表面処理を担うことから、製造部門の集積化が期待されます。

4月5日、北秋田市地域観光の情報発信の拠点となる「北秋田市観光案内所及び観光情報プラットホーム」を阿仁前田のコンベンションホール四季美館内に開設いたしました。今後、北秋田市の観光はもとより、広域的な情報の収集と発信、新たな観光資源の発掘、旅行商品の開発など観光全般に係る事業を総合的に行うことで、地域観光の振興に大きく寄与するものと期待しております。

第 56 回目を迎えた桜祭りが 4 月 21 日から 5 月 5 日まで、鷹巣中央公園を会場に開催されました。今年は雪解けも早く、早い時期の開花を見込んだものの、気温が低く若干遅めの開花となりましたが、連休も含め期間中は家族連れや行楽客など多くの見物客で賑わいました。

登山シーズンの幕開けとなる、森吉山の山開きが 5 月 3 日行われシーズン中の安全祈願を行いました。また、竜ヶ森の山開きは 6 月 1 日に予定されております。6 月 2 日からは阿仁のゴンドラで行く「森吉山紀行」がスタートし、年間を通し多くの登山客や自然愛好者の入込みが期待されます。

<農林課関係>

記録的な暖冬の影響で、3 月上旬までは気温が平年を上回り雪解けも早まりましたが、3 月中旬から 4 月にかけては気温が平年を下回る日が多く見られました。5 月に入ってから気温も上がり、水稻や野菜の生育は順調に進んでおります。

水稻については、播種作業の始期が平年より 1 日早い 4 月 11 日、盛期と終期が平年並みの 4 月 16 日、23 日となりました。田植え作業は、盛期は平年並みの 5 月 20 日で、今後は、気象変動に応じた水管理に努めるよう、関係機関・団体と協力しながら指導してまいります。

品目横断的経営安定対策については、加入手続き（農政事務所が窓口）が 4 月 2 日から始まり、5 月 16 日現在、北秋田市の認定農業者からの申請件数は 146 件となっております。今後は、集落営農組織等からの申請が予定されております。

新規就農者の確保・育成については、フロンティア農業者育成事業により、昨年に引き続き秋田県農業試験場（野菜コース）で 1 名が研修しております。

市営牧場への放牧については、昨年より 1 週間ほど早く 5 月 2 日に鷹巣牧場、26 日高津森牧場、6 月 1 日ノロ川牧場となっており、放牧期間は 10 月末までを予定しております。

農地・水・環境保全向上対策については、4 月 1 日付けで北秋田市長と実施地区代表者が協定を締結しており、共同活動実施地区は、67 地区（対象面積 2,924ha）、うち営農活動実施地区は、3 地区（対象面積 35ha）となっております。農業のもつ多面的機能の発揮や地域資源の維持管理、環境保全活動が円滑に実施できるよう関係機関・団体等と連携を密にし、支援・指導してまいります。

5 月 25 日、来年開催の第 59 回全国植樹祭に向け、空港周辺ふれあい緑地と北欧の杜公園において、プレ植樹祭「みどりの集い」、「記念フェスティバル」が開催され、小中学生をはじめ多数の市民が参加のもと、育樹作業や各種イベントを実施しております。

建設部

<都市計画課関係>

都市計画道路・太田川口線（元町工区）整備事業については、引き続き用地取得及び物件補償契約に向けた交渉を進めており、5月末現在の契約状況は全体の約1/3となっております。

国道7号鷹巣大館道路（日治道）については、あきた北空港IC（仮称）～栄間の19年度事業化が決定し、5月中旬には国土交通省において、地権者や地区住民に対する事業計画及び調査・測量に係る説明会を開催しております。市としても事業中の栄～大館市櫃崎間とともに、その推進を図るため積極的に協力・連携してまいります。

住生活基本計画（住宅マスタープラン）策定については、5月10日に市民代表、行政職員等からなる第1回策定委員会を開催し、現状分析やアンケート調査結果を踏まえた住宅・住環境の課題等を協議しております。

<建設課関係>

18年度の除排雪経費については、記録的な暖冬の影響で降雪量が少なかったことから、174,152千円（対前年△285,848千円）となっております。

工事の発注状況は、合川支所管内で道路維持工事4件、森吉支所管内で道路新設改良工事1件、阿仁支所管内で小様三枚線道路改良工事1件を発注しております。

また、地方道路整備臨時交付金事業・平里線は橋梁下部工を繰越工事として施工し、5月末に完成しております。橋梁上部工については、5月に発注し、年度内に新しい橋が完成する予定であります。

災害復旧事業については、18年災害道路災害復旧工事3件、河川災害復旧工事1件を5月に発注し、7月中に完成する予定であります。

<下水道課関係>

公共下水道事業については、鷹巣処理区において、4月1日に太田地区及び掛泥地区の一部18.5ha、5月1日に掛泥地区の一部6.8ha、合計25.3haの供用を開始しております。また、阿仁合処理区については、4月1日に湯口内地区の一部及び荒瀬地区の一部10.6haの供用を開始しております。これにより下水道供用区域面積は、鷹巣処理区216.4ha、阿仁合処理区72.1haとなっております。

公共下水道事業における工事については、鷹巣処理区において今年度整備予定地区の太田地区の一部、太田屋敷後地区、高野尻地区の工事説明会を行い、大田屋敷後地内の面整備工事1件を発注しております。

また、「北秋田市生活排水処理整備基本構想策定業務」委託を発注し、今年度内に新たな整備構想を取りまとめる予定となっております。

<水道課関係>

旧町毎に運用しておりました水道料金電算システムは、新電算システムの導入で検針票や納入通知書を統一し、4月分から運用を開始しております。

合川・森吉地区統合簡易水道施設整備事業は、昨年度1月から3月まで米内沢地区右岸で取水調査を実施しております。結果は、水量、水質とも水道水源として良好であるため、森吉山ダム完成までの水道水の安定給水のため、暫定取水を検討しております。

また、暫定水利権申請及び事業実施計画書などの作成業務を4月20日付で発注しております。

消 防 本 部

<常備消防関係>

市内における平成19年1月から4月までの災害件数については火災11が件発生し、その内訳は、建物火災6件、林野火災1件、車両火災1件、その他火災3件となっており、建物火災では住家全焼2棟、部分焼1棟、非住家全焼2棟、ぼやが1棟となっております。損害額は221,221千円で、去年同期件数で3件の増、損害額では124,062千円の増となっております。また、火災によるけが人は重症1名、中等症1名、軽傷1名となっております。

救急救助件数は、救急が414件で去年同期38件の減、内訳は急病286件、一般負傷41件、転院搬送43件、交通事故29件などとなっており、搬送人員は388人となっております。

救助は11件の出場があり、その内5件で活動し5名を救助しております。

職員研修については、4月採用の4名は県消防学校において研修中で、4月に救急救命士国家試験に合格した2名は5月と6月にそれぞれ病院研修を行い、修了後救急救命士として現場活動を行うことになります。

<非常備関係>

春の火災予防運動初日の4月2日、支団ごとに一斉放水訓練、消防車による予防広報パレード、小型ポンプ等機械器具の点検を実施しております。

3月31日で団長、副団長が任期満了となり、これに伴い4月2日それぞれの辞令交付式を団長については市役所において、副団長以下幹部については消防本部で実施しております。

教 育 委 員 会

<総務課関係>

16 期目となる長期山村留学「まとび学園」が、男子 1 名、女子 3 名の計 4 名の入園生を迎えスタートいたしました。受け入れ農家の協力のもと、学園内での生活はもとより、合川南小学校・農家・地域において、様々な体験や交流を通じた学習に意欲的に取り組んでおります。

<義務教育課関係>

平成 19 年度市立小中学校、幼稚園の入学・入園式が 4 月 4 日から 6 日までに举行され、幼稚園 5 名、小学校 283 名、中学校 335 名の新生を迎えております。これに伴い 5 月 1 日現在の小学校（16 校）の児童数は 1,807 名、中学校（5 校）の生徒数は 1,019 名で、学級数では小学校が 108 学級、中学校が 37 学級となっております。

4 月 26 日、教育に関する調査研究及び教職員の研修を推進する北秋田市教育センターの総会が開催され、各種研究会・研究推進委員会がスタートしております。

4 月 21 日から中学校運動部の大館北秋田春季総合体育大会が開催されました。合川中学校の剣道団体の男女優勝、柔道女子団体優勝をはじめ、森吉中学校は柔道男子団体、野球で優勝、鷹巣中学校は卓球女子団体、バレー女子で優勝するなど、団体・個人種目とも今後の一層の活躍が期待される成績を収めました。

5 月 12 日から市内の各小・中学校の運動会が開催されました。仲間と協力し合いながら、元気に取り組む子どもたちの姿が見られ、地域と一体となった思い出に残る運動会となりました。

<高校教育課関係>

4 月 6 日、平成 19 年度合川高等学校入学式が举行されました。今年度の新生は、普通科 29 名、情報ビジネス科 19 名、介護福祉科 16 名の計 64 名で、これに伴い 5 月 1 日現在の生徒数は 2 年生 59 名・3 年生 87 名を含め計 210 名となり、科別ではそれぞれ、普通科 77 名、情報ビジネス科 67 名、介護福祉科 66 名となっております。

また、5 月 1 日現在の寄宿舍入寮者数は、男子（清心寮）33 名、女子（心和寮）33 名で合計 66 名となっております。今後も寮生が健全で安心・安全な寮生活ができるよう努めてまいります。

平成 18 年度介護福祉士国家試験の合格者が発表されました。介護福祉科生徒 25 名が受験し、1 次筆記試験合格者、2 次実技試験合格者とも 16 名で 64.0%の合格率となっており、全国平均 50.4%を大幅に上回ることができました。

<生涯学習課関係>

平成 19 年度の埋蔵文化財発掘調査が、4 月 23 日から国指定史跡「伊勢堂岱遺跡」、5 月 14 日から国土交通省森吉山ダム工事事務所の遺跡調査委託を受けている「森吉山ダム周辺遺跡」でそれぞれ再開されました。

また、5月3日から伊勢堂岱遺跡では、遺跡ワーキンググループによるボランティアガイドが始まり、11月の閉鎖まで土日・祝日の見学者に対応することとなります。

高齢者を対象とした生涯学習の一環として開講している高齢者大学は、高鷹大学 336 名、合川ことぶき大学 92 名、森吉大学 100 名、前田寿大学 73 名、阿仁生き生き大学 50 名の計 651 名の受講生を迎え、それぞれ5月下旬までに入学・開講式を終え、19 年度のキャンパスライフがスタートいたしました。

<公民館関係>

公民館では、市民の皆さんが望んでいる学習や趣味の助長のため、定期講座の企画と受講者の募集を行うとともに、多くの市民の参加による講座が開催されています。平成19年度の定期講座は、今後開催される予定の講座も含め、中央公民館及び鷹巣地区公民館で30講座、合川公民館4講座、森吉・前田公民館7講座、阿仁公民館では11講座の合計52講座が予定されております。

<スポーツ振興課関係>

4月21日、第45回河田杯マラソン大会が開催されました。当日は小雨模様の肌寒い天候にもかかわらず市内外の小学生から一般まで206名が参加、市役所本庁舎前をスタート・ゴールとする各特設コースで健脚を競い合いました。

4月18日、市役所本庁舎において47名の体育指導委員に委嘱状が交付されました。委員の任期は、平成19年4月から21年4月までの2年間で、市民へのスポーツ振興に対する指導助言や実技指導、市が行うスポーツイベントへの協力などを行います。

市民プールの19年3月末までの利用者数は26,458人となっております。6月には一周年記念イベントとして水中健康教室の受講者による公開デモンストレーションや親子水中レクリエーション、ボール入れ競技などを行うほか、当日の施設の無料開放を予定しております。

<国体推進室関係>

第62回国民体育大会秋田わか杉国体開催まで約100日となりましたが、大会開催に向けた平成19年度秋田わか杉国体北秋田市実行委員会を、4月17日森吉コミュニティセンターにおいて開催いたしました。委員会では19年度事業及び予算、並びに山岳競技リハーサル大会予算を承認し、開催に向けた万全な体制を確認いたしました。

市民総参加運動として、開催100日前イベントを6月3日の「もちっこ祭り」会場で予定しております。当日は、市内保育園児による「スギッチダンス」の披露と、国体開催PRを予定しております。

山岳競技関係では、クライミングボードが5月18日に完成いたしました。リハーサル大会は、6月8日・9日の両日開催され、縦走競技は森吉山特設コース、クライミング競技は森吉スポーツ公園を会場に、4種目総勢120名の参加選手による熱戦が繰り広げられます。

宿泊関係では、合川・阿仁地区の民泊協力会と民泊実施計画についてのヒアリングを行い、細部にわたる確認を行いました。受け入れ態勢充実を図るため、6月中旬から下旬にかけ調理講習会を予定しております。

